

報道関係各位

2016年3月29日

LIXILグループ、新コーポレート・レスポンスイビリティ戦略を設定 2030年までに、環境負荷ネットゼロを目指す環境ビジョンを策定

株式会社 LIXIL グループ（本社：東京都千代田区、社長：藤森義明、以下 LIXIL グループ）は、世界中で革新的かつ責任ある活動を通して生活の質の向上に貢献することを目指しており、この度、コーポレート・レスポンスイビリティ戦略を改訂し、重点分野と目標を新たに設定しました。LIXIL グループでは、この新戦略に基づき、幅広い事業や専門知識を活かし、「グローバルな衛生課題の解決」「水の保全と環境保護」「多様性の尊重」という特に緊急性の高い3つの重要課題への取り組みを進めていきます。また、環境負荷のさらなる低減に向け、2030年までに製品・サービスによる環境貢献が、事業活動による環境負荷を超える「環境負荷ネットゼロ」を目指す環境ビジョンを新たに設定します。

LIXIL グループが取り組む重要課題および目標は以下の通りです。

1. グローバルな衛生課題の解決

- ▶ 人びと、特に女性や女兒が、安全な衛生施設を利用できるようにすると同時に、子どもにとって危険な病気感染を防ぎます。
- ▶ 目標：2020年までに1億人の人々の衛生環境を改善し、住生活の向上につなげる。

2014年の世界保健機関（WHO）とユニセフ（国連児童基金）の共同監査プログラム^{※1}によると、約24億人の人々が衛生的なトイレを利用できない生活を送っています。また、不衛生な水や排泄環境に起因する下痢によって、毎日、5歳未満の乳幼児約800人が命を落としています。さらに、女性や女兒は、屋外トイレを利用する際に暴行を受けるというリスクも課題となっています。

LIXIL グループは、開発途上国において衛生的なトイレを提供することにより、衛生環境を向上させ、危険な病気を防ぎ、子供の命を救うとともに、女性や女兒の安全性を高めることを目指しています。当社は、世界の衛生課題の解決に向け、簡易型トイレパン「SaTo（Safe Toilet/安全なトイレ）パン^{※2}」を提供しており、新型モデル3種のフィールドテストを現在実施しています。「SaTo パン」の活用により、従来の屋外トイレから発生する悪臭や病気の伝染を低減することができます。現在、世界各地で81万台超の「SaTo パン」が使用されており、約400万人以上の衛生環境の向上につながりました。LIXIL グループでは、「SaTo パン」のさらなる拡充を図り、2020年までに1億人の人びとの衛生環境を向上させることを目標としています。

※1：共同監査プログラム（JMP）は、水の供給とトイレについて、特にミレニアム開発目標の水とトイレの利用に関する目標への進捗を、国別、地域別、世界レベルで監査するための国連のメカニズムです。

※2：特許取得済み。

2. 水の保全と環境保護

- ▶ 調達から生産、流通、製品の使用・廃棄やサービスの利用に至るまで、全てのプロセスにおいて、水、エネルギー、およびその他の天然資源の保全に努めます。
- ▶ 目標：2030年までに製品・サービスによる環境貢献が、事業活動による環境負荷を超える「環境負荷ネットゼロ」を実現する。

LIXIL グループの環境戦略は、「気候変動の緩和と適応」「水資源の保全」「持続可能な資源の利用」の3つを重点テーマとして掲げています。調達から生産、流通、製品の使用・廃棄やサービスの利用に至る全てのプロセスにおいて、この環境戦略重点テーマに基づく独自の取り組みを行っています。

LIXIL グループでは、節水や高断熱といった環境性能の高い先進的な製品をすでに提供していますが、消費者はこうした環境配慮型の製品を選択することによって、コストを削減できるだけでなく、環境保護に参画することができます。例えば、当社ではトイレで流す水の量の削減に長年にわたって取り組んでおり、1回の洗浄に必要な水量を従来の13Lからわずか4Lに減らした「SATIS」などの節水型トイレを提供しています。また、汚物や水アカなどの汚れを防ぐ革新的な技術を搭載した衛生陶器「アクアセラミック」を開発し、日常の掃除に必要な水の量の削減につなげていきます。さらに、世界最高峰の断熱性能を実現した「レガリス」をはじめ、高性能樹脂窓「エルスター」や高性能ハイブリッド窓「サーモス」といった優れた断熱性能を備えた窓のラインアップを拡充しており、省エネルギー化と温室効果ガスの削減に貢献していきます。

こうした取り組みを通じて、2030年までに、LIXIL グループが提供する製品・サービスによる環境貢献が、事業活動による環境負荷を超える「環境負荷ネットゼロ」の実現を目指しています。

3. 多様性の尊重

- ▶ 社内外の人びとの多様性を尊重します。特に、製品やサービスなどを通じて、高齢者や身体障がい者の生活の質の向上に貢献します。社内では、多様な従業員の英知や視点を活かし、成長とイノベーションの原動力とします。

日本に本拠を置く LIXIL グループにとって、日本社会が直面する高齢化は、非常に重要な課題となっています。当社では、高齢者が安全な環境で、より健康で活動的な生活が送れるような商品・サービスの提供に向けた研究・技術開発を行っています。例えば、高さや角度を自由に変えられ、10ヶ所のノズルからシャワーを噴出する全身シャワー「シャワー・ド・バス」は、入浴に介助が必要な高齢者でも、快適に入浴ができるよう設計されています。

さらに、LIXIL グループは、日本政府のジェンダー・ダイバーシティ実現に向けた施策を支持し、日本における女性の活躍推進を積極的に行っています。当社では、女性が能力や知見を活かすことができる環境の整備が、成長とイノベーションの推進につながり、ひいては日本経済の成長をもたらすと考えています。

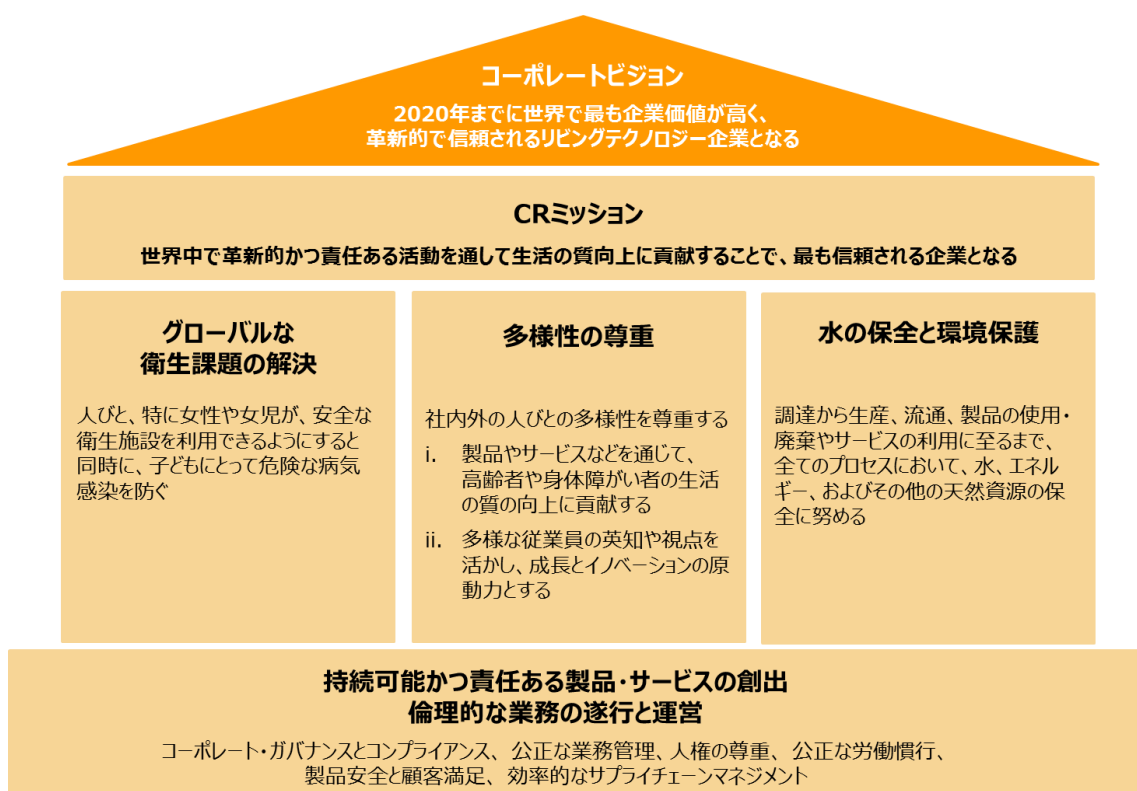
LIXIL グループでは、上記をコーポレート・レスポンシビリティ活動の3つの柱に据えています。これらの重点分野以外にも、持続可能な地球・社会の実現に向けて幅広い活動を行っています。倫理的な事業活動を行い、責任ある持続可能な製品・サービスを提供するという方針が、当社のコーポレート・

レスポンスビリティ活動の基盤となっています。

株式会社 LIXIL グループ 代表執行役兼 COO の瀬戸欣哉のコメント

「LIXIL グループでは、企業市民として、地球規模の環境問題や社会的課題の解決に向け、積極的な取り組みを進めています。グローバルなネットワークとこれまでに培った知見や実績を活用することで、課題解決により大きな貢献ができると考えています。この度、新コーポレート・レスポンスビリティ戦略を策定し、今後の活動の柱となる重点分野を設定するとともに、環境・社会面での持続可能性確保に向けた具体的な環境目標を設定しました。LIXIL グループは、責任ある持続可能なイノベーションを追求しており、世界中の人々のより豊かな暮らしと住まいの実現に向けて、事業を推進してまいります」

■ LIXIL グループのコーポレート・レスポンスビリティ戦略

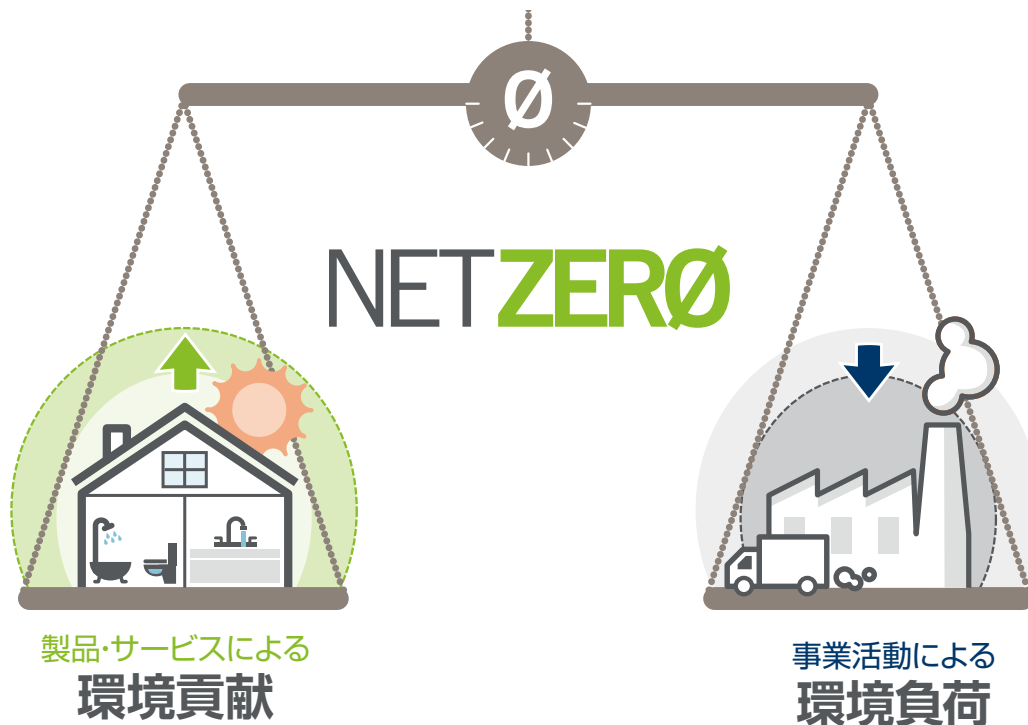


LIXILグループ環境戦略

LIXILグループは、水の保全や環境保護などの環境課題を経営の最重要課題の一つと認識し、リビングテクノロジー企業として製品・サービスを通じて社会課題の解決に貢献する環境戦略を推進します。

環境ビジョン2030

地球温暖化対策のために、今世紀末までに温室効果ガスの人為的な排出と生態系の吸収をバランスさせるという長期目標がパリ協定で示されました。このゼロ・バランスされた社会の実現に貢献すべくLIXILグループは新たな環境ビジョンを策定しました。2030年までに、技術革新による低炭素・節水といった「製品・サービスによる環境貢献」が、原材料調達から製造、製品の使用と廃棄などサプライチェーン全体の「事業活動による環境負荷」を超える「環境負荷ネットゼロ(±ゼロ)」を実現します。



環境戦略重点テーマ

環境ビジョンを実現するために、次の3項目を環境戦略重点テーマとして掲げ、具体的な目標・施策を設定し、着実に活動していきます。

- 1 気候変動の緩和と適応
- 2 水資源の保全
- 3 持続可能な資源の利用

環境方針

従業員の行動の指針として、次の5項目を環境方針として策定しました。私たちは、持続可能な社会の実現のため、製品・サービスや事業プロセスのライフサイクル全てを通して、地球環境に配慮し、責任を持って行動します。

- 1 環境マネジメントシステムの継続的改善
- 2 コンプライアンスの徹底
- 3 環境に配慮した製品・サービスの開発と普及
- 4 事業のあらゆるプロセスにおける環境負荷の低減
- 5 積極的なコミュニケーションの推進